

1月16日はふるさと鯖江の日 みんなでつくろう みんなのさばえ



2020（平成22）年 市議会からの提案 鯖江市民主役条例制定

鯖江市民主役条例

4つの基本理念

- 1 わたしたちは、まちづくりの主役は市民であるという思いを共有し、責任と自覚を持って積極的にまちづくりを進めます。
- 2 わたしたちは、まちづくりの基本は人づくりであることを踏まえ、それぞれの経験と知識をいかし、共に学び、教え合います。
- 3 わたしたちは、自らが暮らすまちのまちづくり活動に興味、関心を持ち、交流や情報交換を進めることで、お互いに理解を深め、協力し合います。
- 4 市は、協働のパートナーとしてまちづくりに参加する市民の気持ちに寄り添い、その意思を尊重するとともに、自主自立を基本とした行政運営を進めます。

鯖江市民主役条例 4つの基本理念

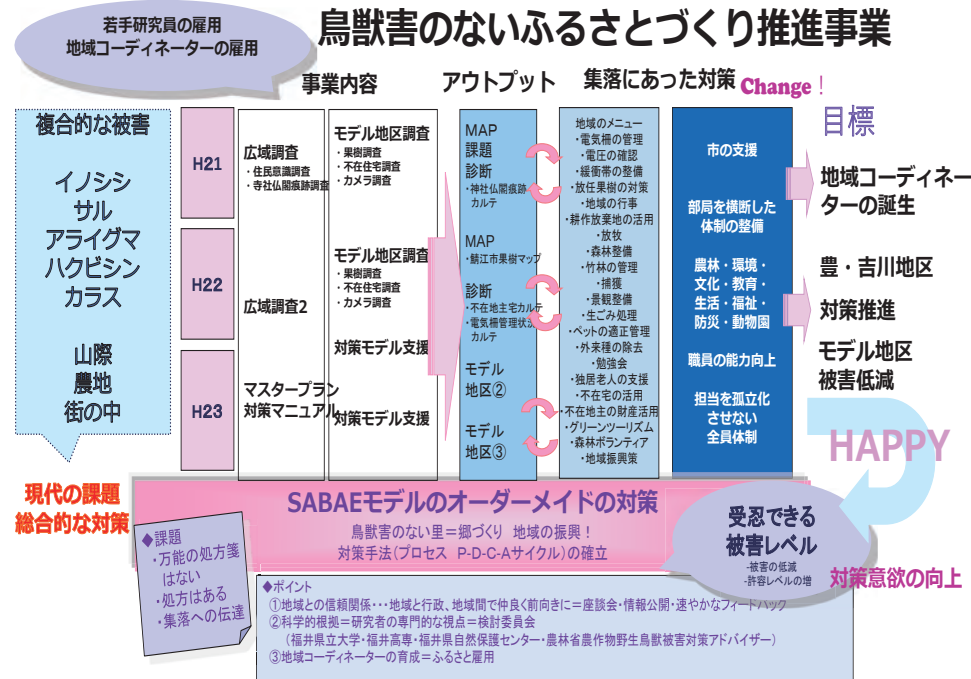
主役は市民

まちづくりの基本は
人づくり

交流や
情報交換

協働の
パートナー

鳥獣害のないふるさとづくり推進事業



人と生きもののふるさとづくり マスタープランの策定 プランの概要



基本理念

「野生鳥獣と人との共存」

「鳥獣被害対策を通じた活力ある地域づくり」



鳥獣被害のないふるさとの実現



市民・市民団体、事業者、行政、専門家が、それぞれに協働し、何をどのように取り組めばよいかを明文化



第1次
2012年
直球の対策



第2次
2017年
楽しみな対策



第3次
2022年
持続可能な対策

新たな
挑戦！

基本方針

市民主役で取り組む 地域ぐるみの鳥獣被害対策

鯖江市民の地域への高い参加意欲を活かして、
自ら取り組み考えて行動できる市民による対策を進めます。

【目標】5年後（令和8年度）の
鳥獣被害に対する認知度

100%

を目指す。



基本理念：

「野生鳥獣と人との共存」

「鳥獣被害対策を通じた活力ある地域づくり」

基本方針：

市民主役で取り組む地域ぐるみの鳥獣被害対策

鯖江市民の地域への高い参加意欲を活かして、自ら取り組み考えて行動できる市民による対策を進めよう



基本施策：

人と生きもののふりさとづくりを進めていくために

鳥獣被害への市民の理解を深める

「野生鳥獣と人との共存」

を実現するための行動は

きちんと守る



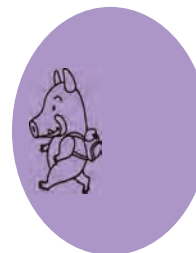
「鳥獣被害対策を通じた活力ある地域づくり」

を実現するための行動は

対策仲間を増やす



市民アンケート結果



住民意識調査 3次 2021年

<調査目的>

野生動物に関する鯖江市民の意識、関心や知識レベルおよび
鯖江市行政に対する認識の把握

<調査時期・調査対象>

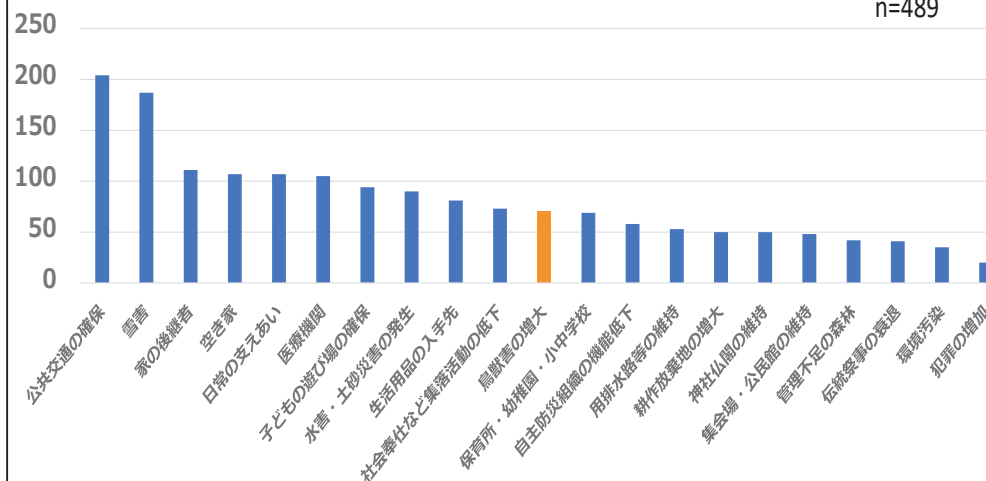
- 実施時期：令和3年4月23日～6月8日（告知締切4月30日）
 - 調査対象：市民1,000名(20歳以上、日本国籍のみ無作為抽出)
 - ・ 地区間の違いに着目し、市内10地区から各200名を抽出
- ※ 結果は市全体の単純平均ではない ことに留意

<回収率>

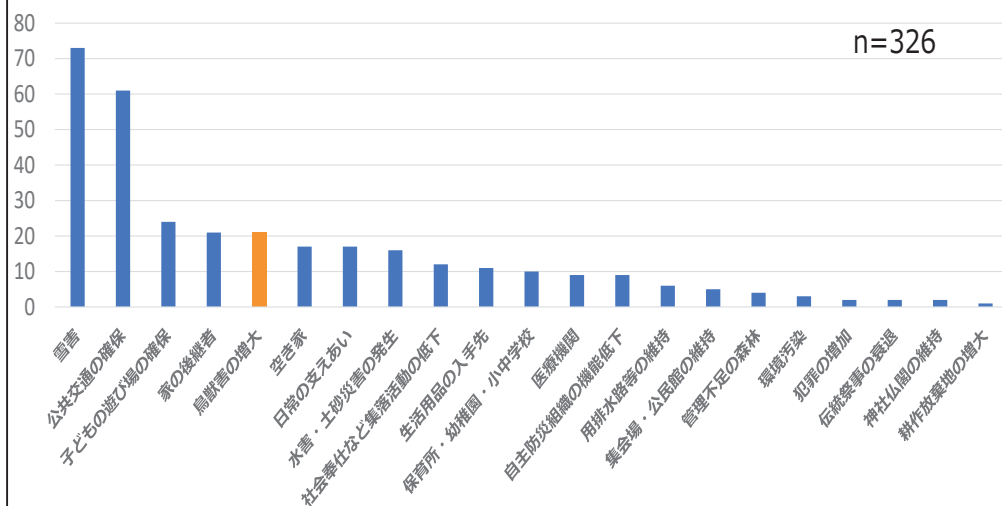
○対象者数：1,000名 ○回収数：503通 ○回収率：50.3%

問14 あなたがお住いの町内（自治会）が
今後30年元気でいるために、乗り越える必要がある
課題は何ですか（複数回答）

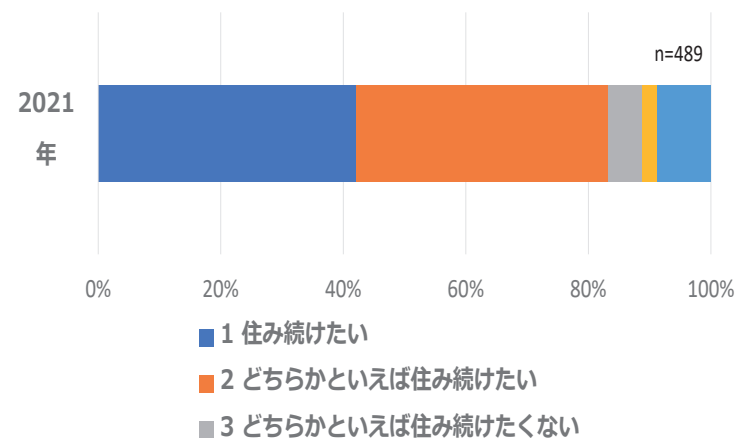
n=489



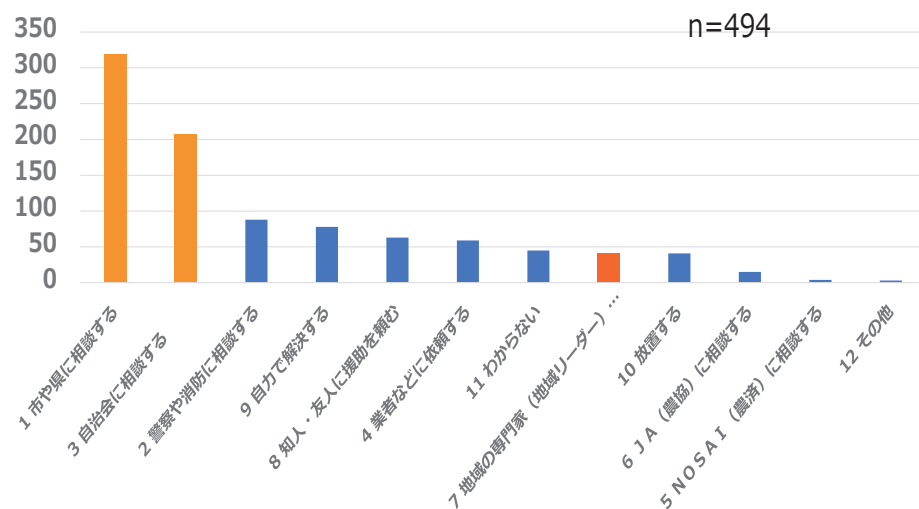
問15 あなたがお住いの町内（自治会）が
今後30年元気であるために、乗り越える必要がある
課題は何ですか（特に困っているものひとつ）



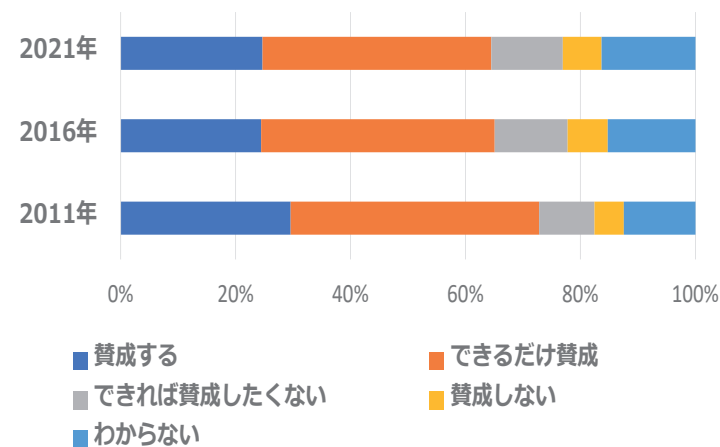
問13 この地域に今後も住みたいと思いますか



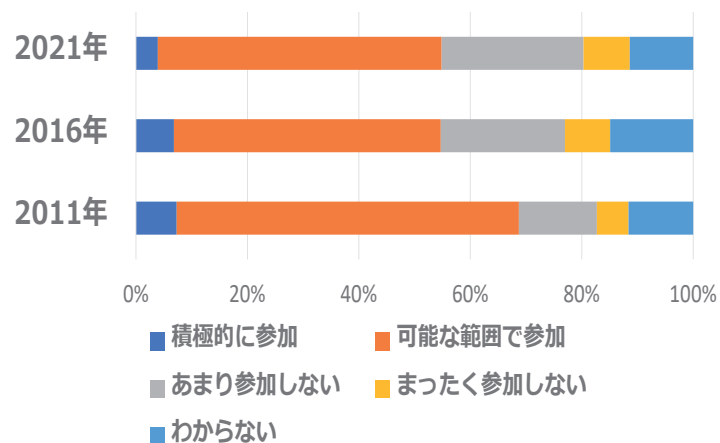
問5 もし鳥獣害があなたのまわりで発生したら、
どのように解決しますか？



問6 町内（自治会）全体で年に3～4回、半日程度、鳥獣害
対策の共同作業を行うことが町内（自治会）で決められようとした
場合、あなたは賛成しますか？



問7 町内（自治会）全体で年に3～4回、半日程度、鳥獣害対策の共同作業を行うことが町内（自治会）で決められようとした場合参加しますか？



第三次プラン改定のポイント

・多様な地域課題の存在

多様な地域課題と一緒に取り組む鳥獣被害対策

・協働活動の参加意欲の低下が問題

地域の協働力の低下に対してどう取り組むか

・住み続けたい人が多い

理由はいかにせよ住みたい人がいる

このマンパワーを活かせないか



人と生きもののふるさとづくり
マスタープランの策定
プランの具体的な取り組み

市民理解
を深める

きちんと
守る

対策仲間
を増やす

プランの具体的な取り組み さばえのけものアカデミー



さばえのけものアカデミー

- **けもの気持ち**がわかります。
- けもの対策のための**スキル**が身につきます。
- **主体的な学び**のすばらしさを実感できます。
- 立場の違う参加者のおかげで**多様な視点**に気づけます。
- とにかく**フィールド**に出たくなります。



主体的な学び

集落を超えて
活躍できる
リーダーを育成
したい

さばえのけものアカデミー

総論

- 1 鳥獣害対策の現状と対策の基本的な考え方
- 2 法的背景

各論

- 1 野生鳥獣のことを知る（理解している）
- 2 害を出す野生鳥獣のエサや隠れ家を減らせる（見分けられる）
- 3 害を出す野生鳥獣から囲いや追い払いで集落を守る
- 4 害を出す野生鳥獣を捕まえられる（利用できる）
- 5 鳥獣被害対策に関する情報を正しく収集・分析・伝達できる

現地実習（電気柵設置と管理、解体処理と利用、集落点検、）
意見交換

